

第2学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 中村 公美

1. 題材名 おもしろハットで 大へんしん！ A表現（2）立体に表す

2. 題材設定の理由

○ 本学級の子どもは、毎週の図画工作科の時間をとても楽しみにしている。次に学習する題材名を知ると、すぐに材料を集めて教室に持って来たり、材料からイメージを膨らませ、やってみたい活動やつくってみたいものを想像したりする子どもが多い。1学期に学習した題材「わたしだけの えのぐじま」（A表現（2）絵）では、「えのぐじま」をいろいろな方向から見ている気持ちで場面を想像したり、自分で考えたお話に合うように、島のかたちを考えて表現したりする活動を経験している。自由に想像したり、想像したことを色や形で表したりする面白さや楽しさを味わうことができた。また、題材「ギュッとしたい わたしのおともだち」（A表現（2）立体）では、手で揉んだクラフト紙の感触を味わい、その触り心地からイメージを膨らませて、「おともだち」の形や色、つくり方を工夫することができた。「おともだち」の抱き心地を何度も確かめたり、自分の好きな材料でさらに装飾したりしながら作品をつくる経験をしている。

本題材では、自分の好きな感じを絵の具で表したり、感触を味わいながら作品をつくったりした経験から、さらに様々な材料を試しながら自分で選んだり、つくり方を工夫したりすることで、立体的な造形感覚を伸ばしたいと考える。

○ 本題材は、自分のイメージに合う材料を選びながら、形や色を工夫して帽子をつくり、それを身に付けて大変身する学習である。さまざまな紙や身の回りの材料を帽子に見立てて身に付ける活動から、子どもが材料に積極的に働きかけながら、しぼる、つまむ、ねじる、折る、丸める、切る、貼る、結ぶ等の様々な造形活動が期待できるものである。材料としては、身の回りにある、画用紙、カラー工作用紙、クラフト紙、くしゃくしゃ紙、セロハン紙等、これまでの学習で触れたことのあるものを使うことで、慣れ親しんでいる材料が平面から立体の帽子に変化する面白さを味わえることが期待できる。さらに、材料と十分に触れ合いながら、立体的な造形活動が繰り返されることが、今後の造形活動の素地につながっていくと思われる。また、あえて材料やつくり方を限定しないことで、子ども一人一人の思いのこもった、世界に一つの帽子が生まれると思われる。

3. 指導上の着眼

【着眼1】題材設定や展開の仕方の工夫

○ 子どもが、色や形に関心をもち、能動的に材料に働きかけながら活動することができるよう、様々な色や形の画用紙、カラー工作用紙、クラフト紙、くしゃくしゃ紙、セロハン紙等から材料を選び、自分のイメージに合う帽子をつくり、身に付けて変身する活動を題材として設定する。また、「あじわう」段階では、「おもしろハットで大変身パーティー」を設定し、「おもしろハット」と「大変身」という二つのキーワードから、子どものワクワク感や、非日常的な楽しさを喚起したい。

○ 子どもが、造形活動と鑑賞活動を往還できるように、学習過程において、材料の鑑賞や、自分の作品や行程の鑑賞、友達の作品の鑑賞、教室や校内で展示する場所での鑑賞など、一斉の鑑賞活動や個での鑑賞活動を効果的に位置付けたい。

「であう」段階では、日常的な帽子から、さまざまな形や色の珍しい帽子の写真を鑑賞し、イメー

ジが膨らむように学級全体で話し合う時間をもつ。材料コーナーに様々な材料を準備し、材料の鑑賞からも発想が広がるようにする。

「みつける・あらかわす」段階では、子どもが材料や友達と対話し、鑑賞を繰り返しながら、表現活動ができるように、図工室の真ん中に材料コーナーをつくり、その周りに班毎の机を配置する。また、コーナーの四箇所に鏡を置き、帽子をかぶっている自分の姿や、鏡の前で見ている友達の姿を鑑賞できるようにする。

「あじわう」段階では、「おもしろハットで大変身パーティー」を設定することで、変身したり、変身した姿を見合ったりする活動から、楽しみながら鑑賞する経験を味わわせたい。また、完成した作品は、校内の「つついギャラリー」に一定期間展示することで、他学年の子どもや地域の方にも鑑賞してもらう場をつくりたい。

【着眼２】造形的な見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

子どもが自分なりの造形的な見方・考え方を働かせて活動することができるように、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点から以下のように学習活動を工夫する。

- 子どもが、視覚や触覚などの感覚を働かせながら、材料を選んだり、その特性に気付いたりできるように、材料コーナーに様々な色の画用紙、カラー工作用紙、クラフト紙、くしゃくしゃ紙、セロハン紙等を並べる。また、子ども達が自ら集めた身近な材料も材質ごとに並べるようにする。実際に被ってみたり、友達と見合ったりして、能動的に材料に関わりながら自分のイメージに合う材料を選べるようにする。

＜「主体的な学び」「対話的な学び」の視点＞

- 今まで学習で使ったことのある材料から思い付いた「おもしろハット」を自分の力でつくり出せるように、黒板に活動全体の見通しを掲示したり、しぼる、つまむ、ねじる、折る、丸める、切る、つなげる、編む、結ぶ等の様々な操作を実物と一緒に掲示したりする。

＜「主体的な学び」「深い学び」の視点＞

- 子どもが、自分や友達の作品を味わったり、自分たちの生活を楽しくするために生かそうとしたりできるように、「あじわう」段階に「おもしろハットで大変身パーティー」を行い、帽子を被って遊んだり、一年生やお世話になっている先生方に見てもらったりする。また、作品は一定期間、学校内に展示しておく。

＜「対話的な学び」「深い学び」の視点＞

【着眼３】学習評価の工夫

子どもが自分の活動を振り返ることができるように、「振り返りカード」をもとに、毎時間ごとに短時間で、学習のめあてが達成できたかを自己評価できるようにする。合わせて、「振り返りカード」には、毎時間の活動を絵や言葉で残せるようにする。「振り返りカード」には、できたこと、困っていること、必要な材料などがあれば、書けるようにし、評価とともに支援にも生かせるようにする。

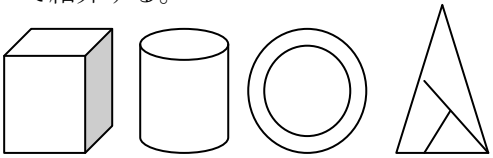
4. 特別な教育的支援を要する子どもに対する指導上の工夫・手だて

困難さ	手だて	番号
形や色等の特徴を捉えることや、イメージをもつことが難しい。	友達や自分の帽子のイメージや形を言葉にして出し合う時間をもつようにする。	①
細かいものをつまんだり、ひもを通したりすることが難しい。	つまみやすい堅さの材料を用意したり、太いひもを用意したりする。	②

5. 目標

造形への 関心・意欲・態度	身近な材料でつくる「おもしろハット」に興味や関心をもち、自分のイメージに合った「おもしろハット」をつくっていく活動を楽しんでいる。
発想や構想の能力	材料を触ったり、身に付けたりしながら、自分の「おもしろハット」を思い付くことができる。
創造的な技能	材料を切ったり、組み合わせたりする等の操作をしながら、自分の「おもしろハット」に合う表現を工夫することができる。
鑑賞の能力	自分や友達の作品のよさや工夫を見付けながら、見たり話したりすることができる。

6. 指導計画と評価計画（総時数 4 時間）

	主な学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
であう	1. 日常的な帽子から、さまざまな面白い形の帽子の画像を見て、どんな「おもしろハット」をつくろうか話し合う。 ① ・「おもしろハット」ってどんな帽子かな。 ・どんな材料で「おもしろハット」をつくろうかな。	○ 子どもが、「おもしろハット」に興味をもち、これからの活動に期待をもてるように、今までの帽子の概念を崩すような帽子を画像で提示する。 ○ 子どもの「おもしろハット」に対するイメージが膨らむように、つくってみたいものやイメージを出し合い、板書に言葉で残すようにする。 ○ 子どもが材料コーナーで友達や、材料と対話ができるように、図工室の真ん中に材料コーナーをつくり、それを囲むように6つの机を並べる場の設定にする。	【関】 面白い形の帽子を見たり、「おもしろハット」について話し合ったりする活動から、身近な材料でつくる「おもしろハット」に興味や関心をもち、活動を楽しんでいる。 (発言・活動・振り返りカード)
みつける	2. 「おもしろハット」の土台をつくる。 ① ・土台の形は、どんな色や形にしようかな。 ・どこをつなぐと帽子の形になるかな。	○ 子どもが、自分のイメージに合った帽子の土台を見付けることができるように、袋型、筒型、帯型、巻き付け型、二つ折り型など、作り方を実物で紹介する。  紙袋型 筒型 帯方 巻き付け型 ○ 土台以外の材料は、子どもに呼びかけて早めに集め、材質毎に分けて並べておく。	【発】 材料を触ったり、身に付けたりしながら、自分のイメージにあった「おもしろハット」を思い付いている。 (発言・活動・振り返りカード)
あらわす			

あ ら わ す	3. さらに、色や形の組み合わせを工夫して「おもしろハット」のイメージを広げながらつくる。 ① ＜本時＞ ・「大変身」できるように、どんどん形や色を増やして、イメージをひろげよう。 ・鏡を見て確かめながらつくろう。	○ 子どもが、実際に触って感触を確かめたり、被ってみたりしてイメージを広げられるように、様々な材料（画用紙、カラー工作用紙、クラフト紙、くしゃくしゃ紙、セロハン紙等）を材料コーナーに準備する。 ○ 子どもが自分の思いに合った表現方法を見付けることができるように、しぼる、つまむ、ねじる、折る、丸める、切る、つなげる、編む、結ぶ等の様々な操作を実物と一緒に掲示しておく。 ○ 子どもが、自分の作品と対話したり、体全体で表現活動を楽しんだりできるように、図工室の四箇所に鏡（姿見）を設置する。後姿も見ることができるように小さな手鏡もかごに入れて置いておく。	【創】材料を切ったり、組み合わせたりする等の操作をしながら、自分の「おもしろハット」に合う表現を工夫している。 （発言・活動・作品・振り返りカード）
あ じ わ う	4. 出来上がった「おもしろハット」を身に付けて「おもしろハットで大変身パーティー」をひらく。 ① ・「おもしろハット」に合う、マントや杖もつくろうかな。 ・身に付けて、みんなの前で発表しよう。 ・他の学年や先生達にも見てもらいたいなあ。	○ 子どもが、「大変身」の楽しさを味わえるように、「おもしろハットで大変身パーティー」を設定する。 ○ 大変身している友達を紹介させることで、互いの作品のよさや面白さに気付けるようにする。 ○ 学習後、子どもが造形活動を生活に生かして楽しむことができるように、作品は、校内の「つついギャラリー」に展示し、低学年やお世話になっている先生、地域の方にも見てもらえるようにする。	【鑑】自分や友達の作品のよさや工夫を見付けたり、それを友達に話したり、伝えたりしている。 （発言・活動・振り返りカード）

7. 本時の学習 平成30年9月28日（金） 第5校時 図画工作科室

（1）主 眼

材料の特徴について話し合ったり、試したりする活動を通して、自分の「おもしろハット」のイメージに合う表現を工夫することができるようにする。

（2）準 備

- ① 教師 色画用紙、カラー工作用紙、くしゃくしゃ紙、クラフト紙、セロハン紙、新聞紙、色紙、アルミシート（アルミホイル）、紙テープ、ひも、リボン、モールなど
- ② 子ども はさみ、のり、木工用ボンド、ボンドタッチ、ホチキス、振り返りカード

(3) 本時でめざす子ども像

材料の色や形、組み合わせを試したり、自分のつくった帽子をかぶって鏡に映して鑑賞したりしながら、自分の思いに合うように工夫してつくり続ける子ども。

(4) 展 開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準（評価方法） ★特別な教育的支援を要する子どもへの特に困難とされる場面での支援のポイント
1. 教師の参考作品について話し合い、本時のめあてを確かめる。 めあて 「大変身」できるように、「おもしろハット」を工夫してつくろう。	○ 本時の活動について見通しをもつことができるように、帽子の土台に他の材料を付け加えた参考作品を提示し、そのよさや工夫について話し合わせる。
2. 材料を使ってどんな工夫ができるのか話し合う。  アルミシートをでこぼこにして貼り付けようかな。 くしゃくしゃ紙で、ふわふわのお花をつかって付けようかあ。  くしゃくしゃ紙は、ひねって貼ってもきれいだなあ。 3. 話し合いや材料から、さらに思いついたことを試しながら、「おもしろハット」をつくる。  もっとイメージに合うように、色画用紙で形を付け加えようかな。 くしゃくしゃ紙を使って、全体がふわふわした感じになるようにしようかな。   「大変身」できるように、さらに紙テープを巻きつけてみようかな。	○ さらに自分のイメージに合った表現の仕方を思い出すことができるように、参考作品を見ながら表現方法について話し合う場を設定する。 ★ 手だて① 自分のつくりたい帽子のイメージがもてるように、児童が発現した工夫を板書に残し、後からヒントにして活動できるようにする。 例 アルミシート でこぼこ くしゃくしゃ紙 ふわふわ ○ 表現の仕方が思いつかずに困っている子どもには、しぼる、つまむ、ねじる、折る、丸める、切る、つなげる、編む、結ぶ等の様々な操作を実物と一緒に掲示したコーナーを見せ、自分のイメージに合う表現方法を一緒に話しながら、試すことができるようにする。 ○ 接着・接合のためのひもや、モール、リボン、毛糸等も準備しておく。 ○ 材料の特徴を生かしながら表現できている子どもには、よい点を具体的に取り上げ、賞賛する。 ★ 手だて② 机間指導の際に、自分のやりたい表現方法が試せるように、材料を変えてみたり、作業がしやすいサイズに変えたりするように声をかける。 【創】紙の質感や色などの材料の特徴を生かしたり、組み合わせたりしながら、自分の「おもしろハット」に合う表現を工夫する。 （発言・活動・作品・振り返りカード）

4. 見付けた工夫についてグループごとに話し合い、学習の振り返りをする。 ・画用紙で形を付け加えたら、「おもしろハット」になったよ。 ・くしゃくしゃ紙は柔らかいから、ふわっとした感じが気に入っているよ。	○ 見付けた表現方法のよさや工夫について話し合い、子ども一人一人の振り返りに生かせるようにする。 ○ 次時の活動に向けた意欲が高まるように、「おもしろハットで大変身パーティー」を開くことを伝える。
---	--

場の設定

